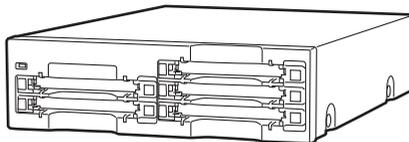


Panasonic®

取扱説明書

メモリーカードドライブ

品番 **AJ-PCD35**



このたびは、「パナソニック製品」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

安全上のご注意	3
ご使用前に	6
概要	6
特長	6
付属品 (AJ-PCD35)	7
インストールに必要な環境	7
各部の名称と働き	8
フロントパネル	8
リアパネル	8
P2カードの挿入	9
P2カードへの書き込み保護	9
設置について	9
外付け型としてパーソナルコンピューターと接続する場合	10
パーソナルコンピューターの5インチベイに内蔵する場合	12
Windows用PCI Expressドライバー	14
1) PCI Express ドライバーのインストール	14
2) PCI Express ドライバーのインストール状態確認	14
Macintosh用PCI Expressドライバー	16
PCI Express ドライバーのインストール	16
アフターサービス	17
定 格	18

この装置は、クラス B 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Macintosh、Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc. の登録商標です。

PCI Express、PCIe は、PCI-SIG の登録商標です。

その他、会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

●本書では、Microsoft® Windows®、Windows® XP Professional、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Ultimate、Windows® 8を「Windows」、「Windows XP Professional」、「Windows 7 Professional」、「Windows 7 Ultimate」または「Windows 8」と表記します。

●本書では、Macintosh®、Mac® Pro、Mac OS® Xを「Macintosh」、「Mac Pro」または「Mac OS X」と表記します。

●本書では、PCI Express®、PCIe®を「PCI Express」、「または「PCIe」と表記します。

●本書では、P2カードとメモリーカードアダプター (AJ-P2AD1) を総称して「P2カード」と記載しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

警告

ACアダプターは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグを抜く

■ 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]

(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)

⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、プラグに簡単に手が届くようにしてください。本機を電源から完全に遮断するには、電源コンセントからプラグを抜く必要があります。

⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。

(次ページに続く)

	<p>■ 電源コードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] <small>(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)</small> ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100 V～240 V以外での使用はしない <small>(たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</small></p> <p>■ 水などの液体をかけたりぬらしたりしない <small>(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)</small> ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p> <p>■ 専用のACアダプター以外は使用しない <small>(定格外のACアダプターを使用すると、火災の原因になります。)</small></p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない <small>(内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)</small></p>
 水場 使用禁止	<p>■ 水場で使用しない <small>(火災や感電の原因になります。)</small></p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない <small>(感電の原因になります。)</small></p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグに触れない <small>(感電の原因になります。)</small></p>
	<p>■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む <small>(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)</small> ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる <small>(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)</small> ⇒ 電源コンセントからプラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>

付属品は…

	<p>■ 付属品(ゴム足、取付ネジ)は、乳幼児の手の届く所に置かない <small>(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)</small> ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
--	---

注意

本機やACアダプターは…



- **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない]
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
- **油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない**
(電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。)
(たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)
- **コードを接続した状態で移動しない**
(電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。)
(また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)

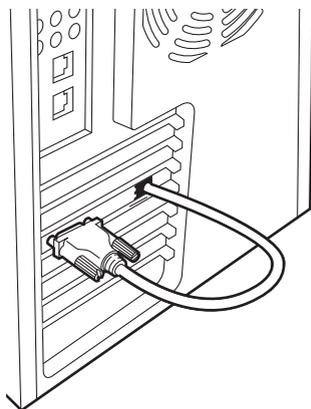


電源プラグを抜く

- **長期間使用しないときや、お手入れのときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く**
(火災や感電の原因になります。)

ご使用の前に

- パーソナルコンピューターとAJ-PCD35を接続した状態で、CD-ROMから必要なドライバーをパーソナルコンピューターにインストールしてください。
詳しくは、CD-ROMのManualsフォルダーにあるインストールマニュアル、および本書の「Windows用PCI Express ドライバー」(14ページ)、あるいは「Macintosh用PCI Express ドライバー」(16ページ)をご参照ください。
- 本機を使用中、本体が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 本機を内蔵型として使用する場合、PCI Expressケーブルの一部がパーソナルコンピューターの外側に出たままになります。本機を内蔵したパーソナルコンピューターは、背面に十分なスペースをとって設置してください。



概要

AJ-PCD35 (以降“本機”と記載)は、PCI Expressインターフェースを使用したP2カード専用のデータ転送装置です。

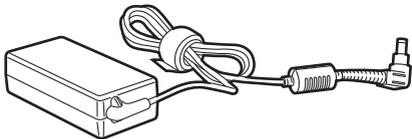
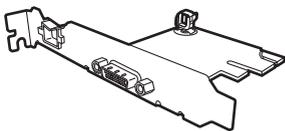
本機は、P2カード用メモリーカードカメラレコーダーで撮影したクリップデータをパーソナルコンピューター (Windows/Macintosh) へ高速転送することを可能にします。

P2カードに記録されたクリップの転送やコピー、また、ダイレクト編集をサポートします。

特長

- 5つのカードスロットを装備
- 外付け型としても、内蔵型 (Windowsのみ) としても使用可能
- 1.0 Gbps以上の高速データ転送が可能
ただし、転送されるファイル、システム、アプリケーションソフトウェア、P2カードのバージョン、その他の条件により転送速度は変化します。
- メモリーカードアダプター (AJ-P2AD1) の使用が可能
本機ファームウェアバージョン2.00以上で対応しています。
ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトをご覧ください。
<http://panasonic.biz/sav/>

付属品 (AJ-PCD35)

ACアダプター 	PCI Express ボード 	取付ネジ × 8 
ACアダプター用電源コード 	PCI Express ケーブル 	ゴム足 × 4 
CD-ROM 		

インストールに必要な環境

本機を動作させるには、以下のホストコンピューター環境が必要です。

- PCI Express (×1以上) の空きスロット (フルハイト) :

本機 1 台につき 1 箇所空きスロットが必要です。また本機は 1 台のパーソナルコンピューターに、最大 2 台までの接続が可能です。

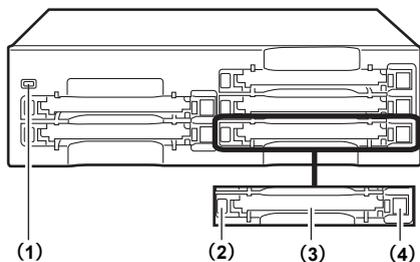
グラフィックカード用スロットでは動作しない場合があります。

また、本機の性能を十分に引き出すために、以下のホストコンピューター環境を推奨します。

- ハードディスクドライブとのデータ転送をする場合、十分な転送速度を実現するため、4 台以上のハードディスクドライブを用いたストライピング構成を推奨します。

各部の名称と働き

フロントパネル



(1) パワーインジケータ

本機が動作可能な状態のとき、緑色に点灯します。

(2) ステータスインジケータ

P2 カードにアクセス中は、緑色に点滅します。

<ノート>

ファイルが壊れたり、P2カード故障の原因となりますので、アクセス中はP2カードを抜かないでください。

(3) カードスロット

本機のカードスロットはP2カード専用です。P2カード以外では動作しません。

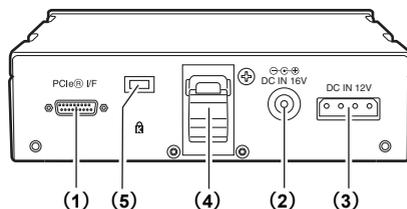
(4) EJECT ボタン

一度ボタンを押し、ボタンが飛び出た状態にして、もう一度押し込むとP2カードを取り出すことができます。

<ノート>

MacintoshでP2カードを取り出すときは、P2カードのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグし、P2カードのアイコンが消えたことを確認してから、EJECTボタンを押してください。

リアパネル



図は化粧カバーを外した状態です。

(1) PCIe インターフェイスコネクタ

PCI Expressケーブルを接続します。

<ノート>

ケーブルを接続するときは、必ず本機とパーソナルコンピュータの電源をOFFにしてください。

(2) DC IN 16V端子

本機を外付け用として使用する場合に、ACアダプターを接続します。

(3) DC IN 12V端子

パーソナルコンピュータに内蔵して使用する場合に、パーソナルコンピュータの電源コネクタと接続します。(13 ページ参照)

<ノート>

DC IN12V 端子と DC IN16V 端子の両方同時に電源を接続しないでください。

(4) ケーブルクランプ

本機を外付け用としてパーソナルコンピュータに接続して使用するとき、ACアダプターのケーブルを保持します。

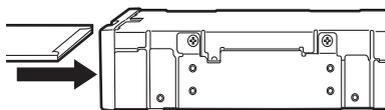
(5) 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。

P2 カードの挿入

本機のカードスロットにP2カードを挿入するときは、必ず、P2カードを水平に挿入してください。

斜めのまま、無理に挿入すると故障の原因になります。

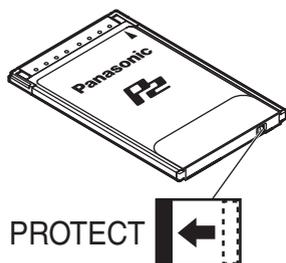


P2 カードへの書き込み保護

P2カードには書き込み禁止スイッチがあります。このスイッチを「PROTECT」側にすると、書き込みや消去を防止することができます。

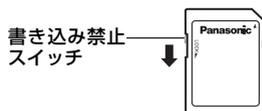
なお、書き込み禁止スイッチは、挿入状態のまま切り替えても機能しません。スイッチの切り替えを有効にするには、一度P2カードを抜き、スイッチを切り替えたあと、再度挿入してください。

メモリーカードアダプター（AJ-P2AD1）をお使いの場合、書き込みや消去を防止するには、アダプターに装着したメモリーカードの書き込み禁止スイッチを切り替えてください。



書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にすると、データの書き込み、消去を防止できます。

書き込み禁止スイッチをこちら側にすると、データの書き込み、消去が可能になります。



設置について

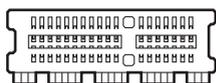
パーソナルコンピューター（Windows/Macintosh）との接続は、2つの方法があります。

1. 本機を外付け型としてパーソナルコンピューター（Windows/Macintosh）と接続する
2. デスクトップ型パーソナルコンピューター（Windows）の5インチベイに内蔵する

設置について (続き)

外付け型としてパーソナルコンピューターと接続する場合

- 1 パーソナルコンピューターの電源をOFFにした後、パーソナルコンピューターから電源コードを抜いてください。
- 2 パーソナルコンピューターの電源がOFFになっているのを確認してから、パーソナルコンピューターのカバーを外します。
- 3 本機に付属しているPCI Expressボードを、パーソナルコンピューター内部のPCI Expressコネクタに挿入します。



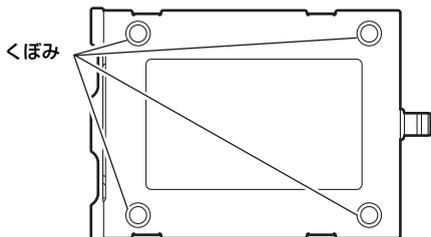
PCI Express
コネクタ(例)

< ノート >

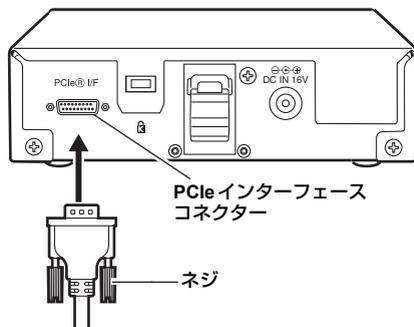
- PCI ExpressボードはPCI Expressコネクタに実装してください。通常のPCIコネクタに実装すると、パーソナルコンピューターが故障する原因になることがあります。
- 付属のPCI Expressボードはフルハイトのブラケットですので、ロープロファイルのスロットには実装することはできません。
- Mac Pro (1st Generation) をご使用の場合、11 ページを参照してください。

- 4 PCI Expressボードを、ネジなどでしっかりとパーソナルコンピューターに固定します。

- 5 ゴム足を、本機の底面にあるくぼみに合わせて、はり付けます。



- 6 付属のPCI Expressケーブルを、本機のPCIeコネクタに接続し、もう片方をパーソナルコンピューターに固定されたPCI ExpressボードのPCIeインターフェースコネクタに接続します。接続後はコネクタ部分のネジを締めて、接続部を固定してください。

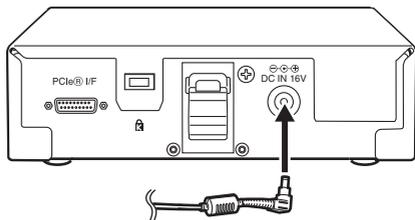


< ノート >

- ケーブルを接続するときは、必ず本機とパーソナルコンピューターの電源をOFFにしてください。
- PCI Expressケーブルの形状をよく確認の上、接続してください。上下を逆に接続すると本機内部の部品が破損し、故障の原因になります。
- PCI Expressケーブルは本機に付属のものをご使用ください。市販されている2メートル以上のケーブルを使うと、正しく動作しないことがあります。

設置について (続き)

- 7 本機に付属のACアダプターを、本機のDC IN 16V端子に接続します。本機が起動します。本機のパワーインジケータが緑色に点灯し、全カードスロットのステータスインジケータが約1秒間点滅するのを確認してください。



- 8 パーソナルコンピューターを起動します。
- 9 パーソナルコンピューター側で、本機を認識しているか確認してください。

<ノート>

- Windows XPで使用されている場合、既に割り当てられているネットワークのドライブ名とカードスロット（本機）のドライブ名が重複する場合があります。カードスロット全て（5個）が表示されない場合は、ネットワークドライブの割り当てを設定し直してください。
- 本機はホットプラグに対応していませんので、パーソナルコンピューターの電源がONのまま、PCI Expressケーブルを抜き挿ししないでください。
- 本機とパーソナルコンピューターを接続中、パーソナルコンピューターの電源がONの状態では本機のACアダプターを抜き差ししないでください。本機の電源がOFFのままパーソナルコンピューターの電源をONにした場合は、本機の電源をONにする前に、パーソナルコンピューターの電源を一旦OFFにしてください。

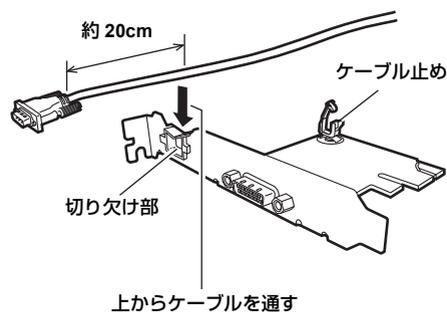
Mac Pro (1st Generation) をご使用の場合、以下のことにご注意ください。

- Mac Pro (1st Generation) に、付属のPCI Expressボードを実装する場合、スロット1または4に実装してください。（スロットナンバーはレーン数を標準状態で使用している場合です）
スロット2または3に実装する場合は“システム” → “ライブラリ” → “CoreServices” → “Expansion Slot Utility” でスロットのレーン数を×4または×8に変更してから実装してください。
- ×8レーン以上のRAIDインターフェースカードと本機を併用した場合、レーン数設定の都合により動作速度に制限が生じます。

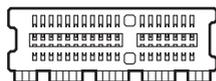
設置について (続き)

パーソナルコンピューターの5インチベイに内蔵する場合

- 1 パーソナルコンピューターの電源をOFFにした後、パーソナルコンピューターから電源コードを抜いてください。
- 2 パーソナルコンピューターの電源がOFFになっているのを確認してから、パーソナルコンピューターのカバーを外します。
- 3 本機に付属のPCI Expressケーブルのコネクターから、約20cmほど先の箇所をボードのブラケットの切り欠け部分に通します。



- 4 PCI ExpressケーブルをPCI Expressボード基板上のケーブル止めで固定します。
- 5 PCI Expressボードを取り付けるスロットにPCI Expressケーブルを通した後、PCI Expressボードをパーソナルコンピューター内部のPCI Expressコネクターに挿入します。



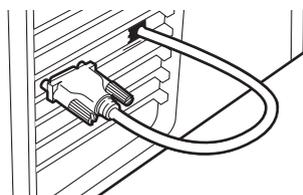
PCI Express
コネクター (例)

< ノート >

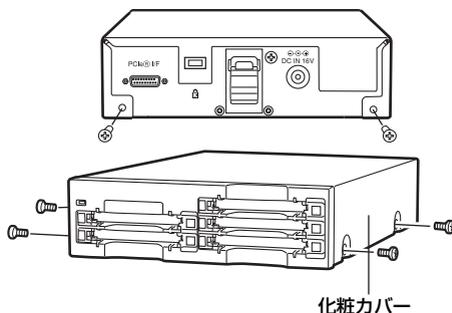
- PCI ExpressボードはPCI Expressコネクターに実装してください。通常のPCIコネクターに実装すると、パーソナルコンピューターが故障する原因になることがあります。
- 付属のPCI Expressボードはフルハイトのブラケットですので、ロープロファイルのスロットには実装することはできません。

- PCI ExpressケーブルがPCI Expressボードを取り付けるスロットに通らない場合、本機を5インチベイに内蔵できません。外付け型としてご使用ください。

- 6 パーソナルコンピューターに付属のネジなどで、PCI Expressボードをしっかりとパーソナルコンピューターに固定します。PCI Expressケーブルのコネクターから約20cm程度はパーソナルコンピューターの外側に出ます。
- 7 PCI ExpressボードのPCIeインターフェースコネクターに、PCI Expressケーブルを接続します。接続後はコネクター部分のネジを締めて、接続部を固定してください。ボードとの接続部から切り欠け部分まではゆるい弧を描くように曲げてください。急激に折り曲げるとケーブルが断線する恐れがあります。



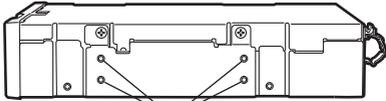
- 8 本機のネジ6本を外し、外側の化粧カバーを外します。



設置について (続き)

- 9** 本機をパーソナルコンピュータの5インチベイに取り付けます。取り付けるときは、本機に同梱の取り付けネジ (7ページ) を使用してください。

5インチベイドライブの取り付け方法については、パーソナルコンピュータの取扱説明書を参照してください。



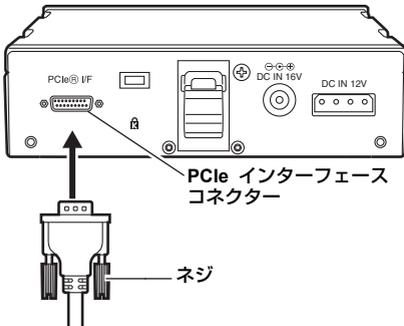
ネジ止め用穴
(反対側も同様)

<ノート>

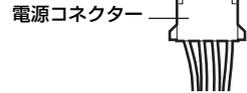
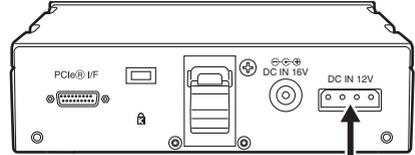
- パーソナルコンピュータの機種によっては、確実な固定ができない場合があります。
- 5インチベイに空きがない場合は、あらかじめ内蔵されたドライブを取り外す必要があります。
- 取り付け後、フロントパネルが操作可能な機種で、ご使用いただけます。

- 10** PCI Expressケーブルのもう一方を本機のPCIeインターフェースコネクタに接続します。

接続後はコネクタ部分のネジを締めて、接続部を固定してください。



- 11** 本機に、パーソナルコンピュータ内部の電源コネクタ (4ピン) を接続します。



- 12** パーソナルコンピュータを起動して、本機を認識しているか確認してください。

<ノート>

- PCI Expressケーブルは本機に付属のものを、ご使用ください。市販の2メートル以上のPCI Expressケーブルを使うと、正しく動作しない場合があります。
- PCI Expressケーブルは、パーソナルコンピュータ内部のヒートシンクファンやフィンに直接触れないように配線してください。
- Windows XPで使用されている場合、既に割り当てられているネットワークのドライブ名とカードスロット (本機) のドライブ名が重複する場合があります。カードスロット全て (5個) が表示されない場合は、ネットワークドライブの割り当てを設定し直してください。
- 本機はホットプラグに対応していませんので、パーソナルコンピュータの電源がONのままで、PCI Expressケーブルを抜き挿ししないでください。
- PCI Expressケーブルを接続するときは、コネクタの形状をよくご確認の上接続してください。上下を逆に接続すると、本機内部の部品が破損し故障の原因になります。
- パーソナルコンピュータによっては、起動後に本機が正しく認識されない場合があります。その場合は4ピンの電源コネクタを取り外し、本機に付属のACアダプターを接続してご使用ください。

Windows 用 PCI Express ドライバー

本ドライバーソフトは、P2 カードの内容を、本機でPCI Expressインターフェースを使用して参照するためのソフトウェアです。

ドライバーに関する最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

1) PCI Express ドライバーのインストール

下記の手順で PCI Express ドライバーのインストールを行ってください。

1 「4. P2用ソフトウェアのインストール」(インストールマニュアルの5ページから10ページ)の説明に従い、手順14までインストール作業を進めます。

インストール作業中にインストールの警告パネルが表示したときは「続行」をクリックしてください。警告パネルは、複数回表示されることがあります。

2 表示する画面の指示に従い、インストールを完了してパーソナルコンピュータを再起動してください。

<ノート>

インストール中に本マニュアルで記述のないパネルが表示された場合は、「キャンセル」あるいは「完了」ボタンをクリックして終了させてください。

2) PCI Express ドライバーのインストール状態確認

PCI Express ドライバーが正しくインストールされているか確認する際には、必ず本機をパーソナルコンピュータに接続してください。接続されていないデバイスは下記の方法では確認できません。

Windows 8の場合

デスクトップ画面の左下にマウスカーソルを移動して右クリックします。メニューが表示されませんので、「デバイスマネージャー」をクリックします。

Windows 7の場合

「スタート」メニューより「コンピューター」を右クリックして「プロパティ」を選択し、システムのプロパティを表示します。ウィンドウ左上の「デバイスマネージャー」をクリックします。

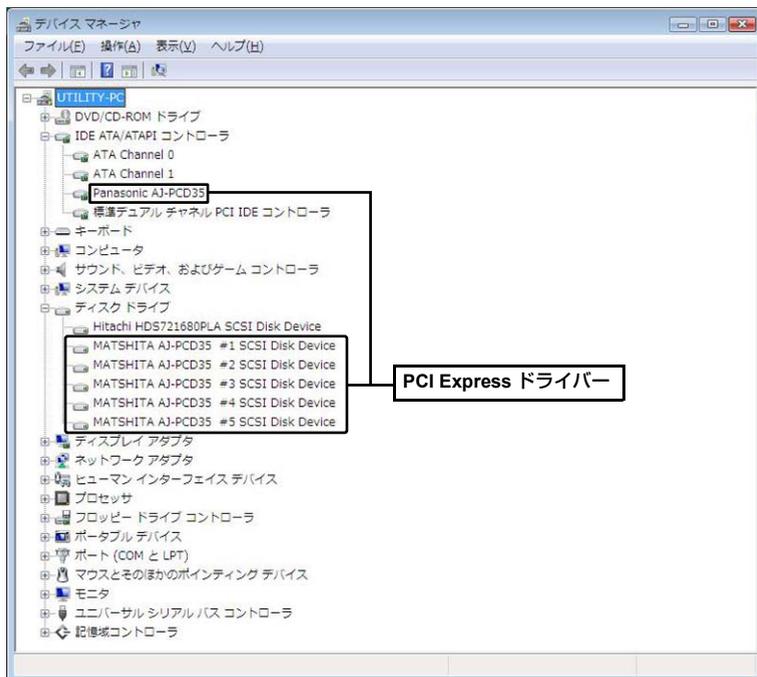
Windows XP Professionalの場合

「スタート」メニューより「コントロールパネル」を開き、「システム」を選択し、システムのプロパティを表示します。「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

Windows 用 PCI Express ドライバー (続き)

デバイスマネージャで以下の項目を確認します。

- 「IDE ATA/ATAPI コントローラ」の下に「Panasonic AJ-PCD35」が表示されている。
- 「ディスクドライブ」の下に「MATSHITA AJ-PCD35 #1 SCSI Disk Device」から「MATSHITA AJ-PCD35 #5 SCSI Disk Device」が表示されている。



Macintosh 用 PCI Express ドライバー

本ドライバーソフトは、P2 カードの内容を、本機で参照するためのソフトウェアです。

本ドライバーをインストールすることにより、Macintosh環境と本機をPCI Expressで接続して、高速にデータを転送できるようになります。

ドライバーに関する最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

PCI Express ドライバーのインストール

ドライバーのインストール手順は、CD-ROMのManuals フォルダにあるインストールマニュアルの「2. P2 用ソフトウェアのインストール」をご参照ください。

<ノート>

P2 カードのアイコンが表示されない場合は、P2 カードを再挿入してください。

<参考>

本機を接続して Macintosh の電源を入れたとき、ごくまれに「装置の取り外しについて」のメッセージが表示されることがあります。

また、P2 カードのアイコンが表示されなかったため、P2 カードを入れなおしたときも同じメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。

「OK」ボタンをクリックしてそのままご使用ください。

アフターサービス

故障・修理・お取扱い
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このメモリーカードドライブの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードドライブ
品番	AJ-PCD35
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

DC 16 V、0.6 A

(ACアダプター使用時)

DC 12 V、0.8 A

(パーソナルコンピューター内蔵時)

は安全項目です。

外形寸法(幅×高さ×奥行き)

148.4 mm × 42.5 mm × 199.5 mm

(突起部は含みません)

質量

1.2 kg

[環境条件]

操作温度

0℃～+40℃

操作湿度

10%～80% (結露のないこと)

[パーソナルコンピューター動作条件]

動作保証OS

Windows XP Professional (SP3) 32 bit

Windows 7 Professional (SP1) 32 bit/64 bit

Windows 7 Ultimate (SP1) 32 bit/64 bit

Windows 8 32 bit/64 bit

Mac OS X 10.6.8

Mac OS X 10.7.4

Mac OS X 10.8.1

メインメモリー

Windows XP、Windows 7 (32 bit)、

Windows 8 (32 bit) : 1 GB以上

Windows 7 (64 bit)、Windows 8 (64 bit) :

2 GB以上

インターフェース

PCI Express Rev1.1

(同梱のPCI Expressボードを使用)

[カードスロット]

PCカードType II × 5

(CardBus準拠)

[AC アダプター]

定格入力

AC 100 V - 240 V、1.20 A、50 - 60 Hz

(日本国内では100 Vでご使用ください)

定格出力

DC 16.0 V、3.75 A

は安全項目です。

ドライバーに関する最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2008